

蓄電池運転モードを設定する

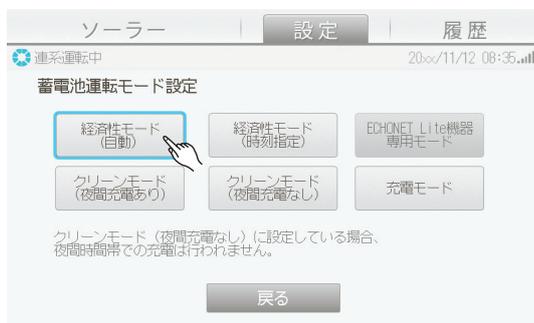
蓄電池運転モードを設定します。

※当社製 HEMS 機器と連携する場合は、HEMS からの制御に利用するため、手順3の蓄電池の放電開始時刻まで設定してください。



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面 2/2 へ移動し、蓄電池運転モード設定をタップする

◀：設定画面 1/2 に戻ります。



2 蓄電池運転モードを選択する

選択すると、外枠が青色に変わり、蓄電池モードが設定され、設定画面 2/2 に戻ります。

蓄電池運転モード (☞ 23 ページ) には下記の6つのモードがあります。

- 経済性モード (自動)
- 経済性モード (時刻指定)
- ECHONET Lite 機器専用モード
- 充電モード
- クリーンモード (夜間充電あり)
- クリーンモード (夜間充電なし)

戻る：設定画面 2/2 に戻ります。

※災害対策時は充電モードを選択

※初期設定では、「経済性モード (自動)」に設定されています。

※ECHONET Lite 機器専用モードは当社 HEMS 機器などの ECHONET Lite 対応機器から制御されていることを表す運転モードです。お客様自身でこのモードに変更することはできません。



3 経済性モード(時刻指定)をタップした場合は、蓄電池の放電開始時刻を設定する

「時」、「分」の入力枠にそれぞれタップし、24 時間表示で時刻をテンキーで入力し、決定をタップします。

夜間時間帯内の時刻は設定できません。

夜間時間帯が 23 時～7 時の場合、放電開始時刻には 7 時 01 分～22 時 59 分が設定可能です。

戻る：設定内容を反映せずに、前画面に戻ります。



- 蓄電池運転モードを切り替えると、一時的に発電電力が 0kW になり、蓄電池が待機中になります。
- 蓄電池運転モードを充電モードに設定しているときに、マルチエネルギーモニタが再起動すると、経済性モード (自動) に変更されます。
- HEMS と蓄電池を連携している場合は、HEMS からの制御により、蓄電池運転モード、キープ残量設定値が変わることがあります。HEMS からの制御を受けている場合は、「HEMS 制御」アイコンが表示されます (☞ 20 ページ)。

蓄電池キープ残量を設定する

非常時に備えて、残しておく蓄電池残量を設定します。

ただし、停電等で自立運転になった場合、または蓄電池実容量診断中は、蓄電池キープ残量の設定によらず、0%まで放電をおこないます。(☞ 51 ページ)



1 設定のタブをタップし、設定のトップ画面で▶をタップして設定画面2/2へ移動し、蓄電池キープ残量設定をタップする

- ◀ : 設定画面 1/2 に戻る



2 蓄電池に残しておく下限値を設定する

設定範囲は0～100%です。初期設定では20%に設定されています。100%に設定すると、放電はしません。

- ▲ : 10% 刻みで増加します
- ▼ : 10% 刻みで減少します
- 決定 : 設定内容を反映し、設定画面 2/2 に戻る
- 戻る : 設定内容を反映せずに、設定画面 2/2 に戻る



- 蓄電池キープ残量を設定していても、蓄電池保護のため、設定した蓄電池キープ残量より前に放電を停止する場合があります。
- 画面に表示される蓄電池は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナの台数です。1台の蓄電池連携型パワーコンディショナに2台の蓄電池が接続されている場合は、蓄電池は1台として表示します。
- 蓄電池キープ残量の設定は、蓄電池が接続されているパワーコンディショナごとに設定できます。
- HEMSと蓄電池を連携している場合は、HEMSからの制御により、蓄電池運転モード、キープ残量設定値が変わることがあります。HEMSからの制御を受けている場合は、「HEMS制御」アイコンが表示されます(☞ 20 ページ)。